

- 1 派遣期日 平成23年9月5日(月)
- 2 研修先 学校名 玉川学園中学部  
所在地 東京都町田市玉川学園6-1-1  
<http://www.tamagawa.ed.jp>
- 3 研修内容 玉川学園中学部 8年生におけるキャリア教育(ライフプランニング)  
平成23年度「夢フォーラム」について

(1) 平成23年度「夢フォーラム」について(三浦一信教諭との対談より)

玉川学園中学部では、ライフプランニング教育の一環として生徒一人一人が現在の自分を見つめ直し、将来へ向けての目標「夢」を考える機械を設けている。8学年(中学2年生)では、「夢フォーラム」と題し、中学年の保護者の方々に職業について話をさせていただいてる。自分の将来の夢を叶えるために、今、この中学時代に何をすべきか、どんな力を蓄えておくべきかを考えさせる授業展開が行われている。

○近年中学校において「職業について知る」キャリア教育が行われているが、玉川学園「夢フォーラム」の特徴やねらいについて伺った。

①本物に接すること

我々は日本という国で暮らしており、日本はアジアの一員であり、世界の国々の一員である。どんな仕事にも誇りとやりがいがある。自分の仕事が日本の国を支えており、アジアや世界につながっているということが今回より明確に理解できる仕事に就いている保護者からお話をいただくことができた。それは将来より高い志を持つためには必要なことである。

＜協力いただいた保護者の職業＞

日銀職員、法務省職員、プロサッカーコーチ(横浜Fマリノス)、パティシエ(クープ・ド・モンド1位)、プロゴルファー、テレビプロデューサー、ジュエリーデザイナー、大学教授、公認会計士、金融業界(みずほ情報総研)

これだけの職種の保護者が授業に協力してくれる環境が整っていることがまずうらやましく感じた。

②どんな話をさせていただくのか(中学生の志を高めるために)

現在の中学生は「夢」をなくしがちである。それはまわりの大人が悪い。中学生が夢を語れなくなったらこの国はどこへ向かうのか……。自分の両親が日々取り組んでいる仕事を理解し、それに感謝し、それを尊敬することは当たり前のことである。そこから中学生は生きる道を見つけていく。中学生はまだまだ夢を心に描く時期である。将来、夢を叶えるために、今どう力を蓄えておくか、中学生は知るべきである。今できること。今何をすべきか。そこをお話してくれるように保護者に依頼している。

(2) 平成23年度「夢フォーラム」職場体験学習について

(伊部敏之教務主任の案内による授業参観)

- ①「夢フォーラム」において保護者の話を聞き、それをレポートにまとめた後、次に取り組むのが職場見学である。実際に職場へ赴き、体験することで仕事に対する理解を深めるとともに、自分の将来について考えるというねらいは日立市で行われている職場体験と同じである。昨年度は14の会社や団体に協力を依頼して実施している。

＜協力いただいた会社，団体一覧＞

朝日新聞社東京本社，日本テレビ，法務省，特許庁，日本銀行，日本航空機体整備工場，Yahoo Japan，エイベックス・グループ・ホールディングス，日興コーディアル証券，株式会社ドワンゴ，味の素川崎工場，雪印横浜チーズ工場，資生堂鎌倉工場，税理士事務所，永谷園，パティストリータダシヤナギ

参観させていただいた授業は各企業訪問を前日に控えた9月5日の2校時の授業であった。特筆すべきは，グループごとにゲストティーチャーを招いて，体験の入念な打ち合わせや質疑応答が行われていることであった。社内での服装や礼儀，建物内のセキュリティーや身の安全に関する行動について，体験する仕事の手順や注意事項，社内での禁止事項，等が確認されていた。訪問する側も受け入れる側も真剣である。そこには自分が考えていた中学生の体験学習という認識を改めさせられるものがあった。新入社員研修に近いものがあるかもしれないと感じたのである。

#### 4 感想

今回の研修で，玉川学園中学部のキャリア教育のライフプランニング学習に触れることができ，中学生に何をどう体験させるのが望ましいのかという「ねらい」を強く感じる事ができた。

本物に触れさせたい。仕事の内容の本質を理解させたい。そのシンプルな思いが本物を目指す人材の育成につながっている。

中学生に夢がない。将来に希望がもてない。そんな世の中を教えるはいけない。こどもは夢の職業があって，それに向けて努力するものである。中学生だからこそ大きな夢をもってほしい。ならば中学生の夢の職業に就いて社会で活躍している人を教室へ連れてこよう。生徒達はその夢を実現するために中学生としてやるべきことに取り組んで力を蓄えておこうと努力するであろう。と考え，それができる環境であることが正直とてもうらやましく感じた。

玉川学園中学部と同じ環境を地方の公立学校で整えることは難しいが，だからこそ我々日立市の教師の情熱や工夫が大切なのだと感じた。自分の目の前にいる生徒が将来に希望や夢をもてるように努力していきたい。